

石炭自燃傾向測定用 石炭発火点測定器

商品番号: KT-TE51



前書き

自動熱分析、リアルタイム曲線プロットを備え、鉱業や発電事業におけるGB/T

18511規格に厳格に準拠した高精度な石炭発火点測定器で、石炭の安全性と自燃リスク評価を最適化します。

[詳細を学ぶ](#)

用途	説明	主なメリット
炭鉱の安全性と備蓄管理	原炭や保管された備蓄品をスクリーニングし、石炭層の自燃性や野焼き火災リスクで分類します。	予測的なハザード分類により、地下の採掘跡火災や備蓄の損失を防ぎます。
火力発電施設	微粉碎前の段階で、生の微粉炭供給、混合燃料、および発電用ボイラーの長期パンカースルージを評価します。	燃料ブレンド戦略を最適化しながら、石炭ミル、供給パンカー、搬送システムにおける自然発火を軽減します。
バルク海上・鉄道物流ターミナル	長距離輸送の前に、積み出しドックや鉄道流通ヤードで大量の輸出入石炭貨物をテストします。	国際的な輸送コンプライアンスを保証し、長時間の海上航海中の自己発熱イベントを防ぎます。
コークスおよび冶金加工	高温安定性と燃焼前反応性について、特殊な製鉄用石炭ブレンドと炭素質添加物を評価します。	一貫したブレンド化学を維持しながら、コークス炉の取り込みサイロを早期燃焼から保護します。
燃焼研究および学術機関	様々な石炭の等級における基本的な酸化速度論、構造的反応性、化学的阻害剤処理を調査します。	査読付きの燃焼科学と阻害剤の配合をサポートする高精度な熱曲線（0.1°C分解能）をもたらします。
環境および損失防止監査	保管技術が国の産業火災予防義務を満たしていることを検証するための規制コンプライアンス評価を実施します。	損害保険会社を満足させるため、標準テストプロトコルに準拠した防御可能で自動化された文書を生成します。

パラメータカテゴリ	仕様属性	値 / 許容差 (KT-TE51)
コア識別	製品モデル名	KT-TE51
規格への適合	基準国家試験規格	GB/T 18511-2001
温度性能	温度制御動作範囲	0°C ~ 500°C
	熱分解能	0.1°C
	線形昇温速度	5 ± 1°C/min
	テスト再現性誤差	≤ 6°C
	温度測定要素	高精度測温抵抗体（RTD）
時系列追跡	タイミング範囲	0 ~ 999 min
	タイミング測定分解能	0.1 min
電気仕様	電源定格	AC 220V ± 10%, 50 Hz

パラメータカテゴリ	仕様属性	値 / 許容差 (KT-TE51)
	最大消費電力	≤ 1.2 kW
自動化とインターフェース	システム制御アーキテクチャ	統合マイクロコンピュータ / PCシステム
	データ出力機能	自動曲線プロット、発火判定、レポート印刷
動作環境	周囲動作温度	0°C ~ 40°C
	相対湿度範囲	≤ 85% RH (結露なきこと)
	電磁干渉要件	強力な電気または磁気干渉源から離して設置してください